

IT ビジネスアイデア 奨励賞受賞

ライセンスコース 甲子園

ITライセンスコースでは資格取得だけではなく、著作権の学習や想像力を生かした作品作りと技術を身につける取り組みも行っています。

今回、取り組みの一環として応募した「全国高校ビジネスアイデア甲子園」で、山口夏音さん(2-5)の「お腹の音吸収はらまき」が奨励賞を受賞しました。これは、授業中にお腹の音が鳴った時にその音を吸収する腹巻きです。以下は、山口さんのコメントです。

私が「お腹がならない腹巻き」を思いついたきっかけは授業中でのことでした。

静かな時にお腹が鳴りそうで授業に集中できないことがよくあり、「どうしたらお腹が鳴らないだろう」と考えるようになったことが始まりです。ちょうど、授業でアイデアを考える課題があったので、私が考えたお腹が鳴らない腹巻きをプレゼンすると、「私もほしい」という声をたくさんかけてもらい、お腹の音で悩んでいる人が多い

ことに気づきました。そして本当に商品化してほしい気持ちが高まりました。先生から入賞していることを伝えられた時は、最初は信じられず、素直に喜ばませんでした。しかし、8191点の内の上位という記載を見てとても嬉しい気持ちになりました。残念ながら、最終審査は通りませんでした。3年生でも応募をして最終審査に進めるようアイデアを考えたいと思います。



探究 学習 全国ファイナリスト



12月の探究学習の全国大会『ENAGEED SUMMIT 2020』に小森咲季さん(1-6)が出場しました。小森さんは“朝すっきり起きられない”という悩みを解決するために「寄り添い型目覚ましロボット」を考案し、6分間のプレゼンテーションを行いました。スマホとロボットを連携させ、ロボットが予定や感情に合わせた“ポジティブな言葉”をかけてくれる点がポイントです。このロボットによって人々が明るくなり、より良い社会を作りたいという思いが込められています。

大会はオンラインで開催され、小森さんは、全国の中高生の応募総数 1122 組の中から一次審査と二次審査を突破し、見事にファイナリスト 10 組に選ばれました。今後も探究学習の授業では、課題発見・アイデアの実現に向け、取り組んでいきます。以下は、小森さんのコメントです。

一次審査と二次審査を通過した時「まさか自分が」と思いましたが嬉しかったです。最終審査では全国の中高生の人たちとオンラインでつながり、それぞれが考えたアイデアを発表しました。自分では考えもしなかったユニークなアイデアがたくさんあり、勉強になりました。残念ながら私は優勝することができませんでしたが、参加できただけでとてもいい経験になりました。これからも、問題に気づき解決に向けて行動できる人になれるよう頑張りたいです。